

助産学概論(助産分野の研究)授業計画

令和8年8月6日(木)三井

1 助産分野の研究(8時間)

単元	時間		内容	提出物
1)研究への取り組み (1)課題の明確化 (2)文献検討 (3)考察 (4)発表	8/6(木) 1h	1h/8h	1)ケースレポートとは (1)構成要素 (2)提出基準	○計画書提出 11/25(水) 8:40 *週番が回収
	11/19 (木) 2h	3h/8h	2)計画書作成 (1)課題の明確化 (2)文献検討	
	12/15 (火) 2h	5h/8h	1)研究への取り組み (レポート作成) (1)考察	
	1/19 (火) 2h	7h/8h	1)研究への取り組み (レポート作成) (1)考察 (2)レポート印刷 ※1/22(金)発表準備	○レポート提出 1/19(火) 17:00 *週番が回収
	1/25 (月) 1h	8h/8h	1)研究への取り組み (1)ケースレポート発表	

【作成上の注意事項】

- ・情報は、実習記録と同様の取り扱いとする(USB やメモ帳等は持ち帰らない)。
- ・レポート作成は学内で行う。
- ・レポート作成は、USB メモリ内で行う(自分の PC にデータを残さない。データのやり取りはしない。)
- ・授業時間外で実習記録を閲覧する場合は、教員に声をかけ記録貸出簿に持ち出し時間と返却時間を記入し、教員の確認サインをもらう。
- ・印刷は教室内のプリンタを使用する
- ・印刷したものは、メモ用紙等も含めて、すべて紙ファイルに綴じる。

【復習をして欲しい事】

- 助産に関する研究の動向 ……渋谷先生の授業
- 研究の意義及び倫理的配慮 ……渋谷先生の授業
- 助産実践を支える理論 ……前期の助産学概論で学習済み

2 評価

*別添の課題ルーブリック評価 20 点

2026年度 ケースレポート評価表

学籍番号

学生氏名

評価項目			2点	1点	0点
はじめに	1	援助の概略、事例を取り上げた理由、自分の実践を振り返る視点が述べられている	援助の概略(いつ、だれに、どのような、目的等)、事例を取り上げた理由、自分の実践を振り返る視点が明確に述べられている	援助の概略(いつ、だれに、どのような、目的等)、事例を取り上げた理由、自分の実践を振り返る視点が一部欠けるが述べられている	援助の概略、事例を取り上げた理由、自分の実践を振り返る視点が述べられていない
事例紹介	2	看護体験を振り返るために必要な対象の情報が述べられている	テーマや考察に必要な情報が過不足なく記載されている	テーマや考察に必要な情報に一部不足がある	必要な助不応がほとんど記載されていない
援助経過・結果	3	援助の目的、実施した援助と対象の反応が、事実に基づき客観的かつ簡潔に述べられている	援助の目的、実施した援助と対象の反応(どのように関わり、どのような反応があったのか)が、事実に基づき客観的かつ簡潔に述べられている	援助の目的、実施した援助と対象の反応の記載に不足がある	援助の目的、実施した援助と対象の反応が述べられていない
考察	4	適切な文献を根拠として、実施した援助の意味を明らかにしている	適切な文献を根拠として、実施した援助の意味を明らかにしている	適切な文献を根拠としているか、実施した援助の意味を明らかにしているかのいずれかに課題がある	適切な文献を根拠として、実施した援助の意味を明らかにしていない
	5	客観的に自己の実践を振り返り、自己の課題が述べられている	客観的に自己の実践を振り返り、自己の課題が具体的に述べられている	振り返りがあるが、課題が曖昧である	自己の課題が述べられていない
結論	6	タイトル・目的・結果・考察が一貫している	タイトル・目的・結果・考察が一貫している。		タイトル・目的・結果・考察が一貫していない
おわりに	7	・新たな気づき、残された課題や今回のケーススタディの限界などが述べられている。	・新たな気づき、残された(まだ明らかになっていない)課題や今回のケーススタディの限界などが述べられている。		記載がない
倫理的配慮	8	個人情報や倫理的配慮が適切に行われている	個人情報や倫理的配慮が適切に行われている	一部不足がある	倫理的配慮ができない
書式・文献記載	9	規定の書式を満たしている。	書式・引用文献・参考文献の記載が適切で誤字脱字がない	軽微な誤りがある	規定を満たしていない。
態度	10	学習者として主体的に取り組み、期限を遵守した	学習者とし主体的に取り組み、期限を遵守した	一部改善点がある	著しい問題がある
合計(20点満点)					点